

令和5年度 北海道旭川南高等学校 シラバス

教科名	科目名	年次	単位	年間予定時間	担当
芸術	音楽Ⅰ	1年次	2	70	横地 修

年間指導計画

前期中間 時数	前期期末 時数	後期中間 時数	後期期末 時数
14	20	12	20

授業の目標

1. 様々な音楽の表現活動を通して表現と鑑賞の能力を高め、音楽を愛好する心情を養う。

学習方法

- 2時間続きの授業に工夫を持たせ、計画的に進める。
- 実技は演奏目標を持ち、目標に向けて進める。

教科書・教材

- 教科書「音楽Ⅰ Tutti+（トゥッティ・プラス）」
- 副教材「高校生のための音楽研究ノート」

評価の観点・規準・方法

評価の観点	評価規準（到達目標）	割合	評価の方法
ア：知識・技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	40%	実技テストの達成度・完成度
			授業過程と姿勢・提出物
イ：思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	30%	実技テストの達成度・完成度
			授業過程と姿勢・提出物
ウ：主体的に学習に取り組む態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	30%	授業過程と姿勢・提出物

その他・備考

- 1 歌唱：斉唱曲や合唱曲を通して歌詞の内容をふまえた表現を心がけて歌う。
- 2 器楽：ギター・バイオリンの演奏を通して独奏曲やグループでのアンサンブル曲を演奏する。
- 3 鑑賞：音楽の歴史や様々なジャンルの特徴をとらえながら鑑賞する。